



## 上越教育大学特別支援教育同窓会の報告

大学院同窓会は各専攻コース等の同窓会も支援しています。

大学院同窓会では、都道府県別の各支部への支援とともに、各専攻コース等で行っている同窓会や研究会の支援も行っています。

今回は、その中から上越教育大学特別支援教育同窓会の活動を紹介します。

特別支援教育については、幅広く認知されるようになってきましたが、まだまだ課題が山積しております。そのような状況の中、上越教育大学で障害児教育・特別支援教育を学んだ修了生は600人に達しようとしています。

平成20年11月、本学創立30周年を機会に、修了生と在学中の院生、教員が集まり、同窓会を開催しました。その後は毎年、講演会を中心とした活動を続けています。

修了生の中には、大学等で教育・研究に携わっている方も多くおられます。その中からこれまでに、新潟大学教授 澤正樹氏、山形大学教授 三浦光哉氏、和歌山大学教授 武田鉄郎氏、上越教育大学教職大学院准教授 加藤哲則氏に講演していただきました。

今年度は、10月27日(土)、「特別支援学校は今、そして、その課題」をテーマに、特別支援学校の現状や課題を中心としたシンポジウムを開催しました。

最初に新潟県教育庁義務教育課特別支援教育推進室 根津指導主事から、広く新潟県を見渡し、特別支援学校の現状と課題について、そして、行政としての今後の施策などをお話いただきました。続いて、新潟県立柏崎特別支

援学校 伊藤教頭から、病弱特別支援学校に在学する児童生徒の変化や多様化の現状と、そこに関係する地域の特別支援教育のセンター的役割について、また、新潟県立上越特別支援学校 南教務主任からは、肢体不自由特別支援学校に在学する児童生徒の重度化と他機関との連携、特に医療や福祉、労働などに関する機関との連携について、最後に長岡市立総合支援学校 吉橋教頭から、知的障害特別支援学校の特に高等部における新しい教育課程と進路指導の現状と課題、進路に関する他機関との連携などについて、お話しいただきました。

お世話になった懐かしい先生方の名前も出てきたり、フロアからも重要な指摘や質問をいただいたり、連帯感を深めながら、まさに、「特別支援学校は今、そして、その課題」について、あらためて考えることができたシンポジウム、同窓会になりました。



大学院同窓会事務局長  
臨床・健康教育学系 教授  
齋藤 一雄

上越教育大学大学院同窓会事務局へのお問い合わせ先  
E-mail:dousoukai@juen.ac.jp

大学院同窓会ホームページ  
http://www.alumni.juen.ac.jp/